2021年3月期 第1四半期
決算概要

2020年8月5日
シスメックス株式会社

Index

1. 2021年3月期第1四半期 決算概要

2. 2021年3月期 売上予想

（参考資料）

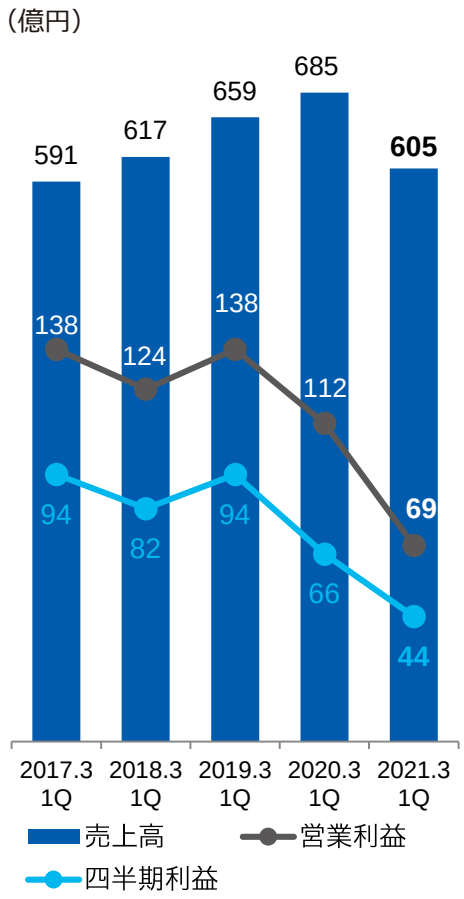
- COVID-19への取り組み
- 事業別・品目別売上高
- 所在地別実績（売上高・営業利益）

当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

1. 2021年3月期第1四半期　決算概要

決算総括（対前年同期）



（億円）

	2021年3月期 1Q		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	605.1	100%	685.4	100%	88.3%
売上原価	298.8	49.4%	316.7	46.2%	94.4%
販売費及び一般管理費	189.2	31.3%	207.0	30.2%	91.4%
研究開発費	49.1	8.1%	49.9	7.3%	98.4%
その他の営業損益	1.7	0.3%	1.1	0.2%	156.9%
営業利益	69.5	11.5%	112.7	16.5%	61.7%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	44.8	7.4%	66.9	9.8%	67.0%

- **売上高**　COVID-19により全地域で入院患者や外来患者数が減少した影響による試薬売上減少に加え、円高の影響もあり、減収
- **営業利益**　減収による粗利の減少に加え、試薬売上の減少により原価率が悪化し、減益
  - **為替の影響**　売上高 △23.5億円　営業利益 +2.6億円
  - **前年同期為替レート適用の場合**　売上高 91.7%　営業利益 59.4%
- **四半期利益**　為替差損益はプラスになるも、営業利益の減少により、減益
  - **為替差損益**　+0.9億円

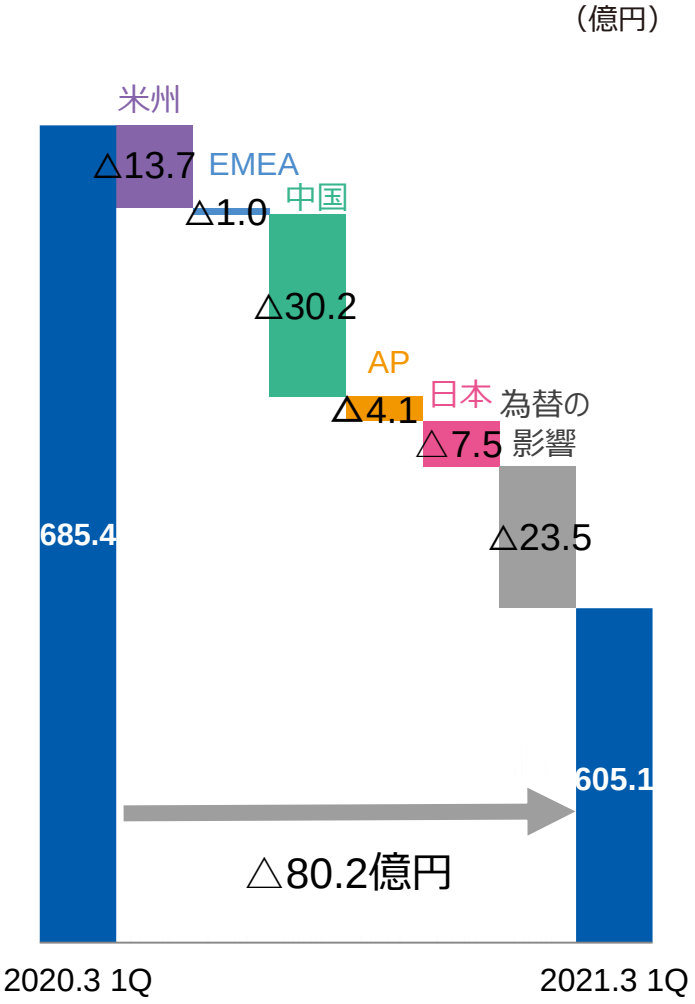
	2021年3月期1Q	前年同期
1USD	107.6円	109.9円
1EUR	118.5円	123.5円
1CNY	15.2円	16.1円

売上高の増減要因（地域別）

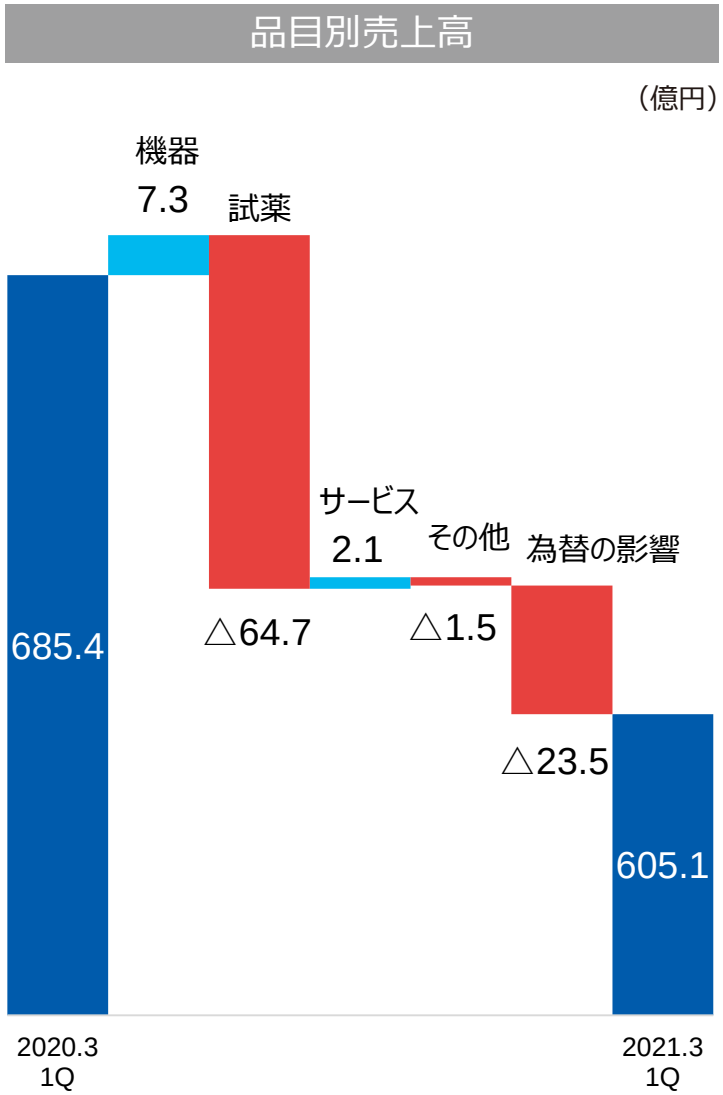
	2021年3月期 1Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	605.1	100.0%	88.3%	※ 91.7%
米州	139.7	23.1%	88.4%	90.3%
EMEA	182.1	30.1%	94.9%	98.9%
中国	138.4	22.9%	78.3%	82.9%
AP	50.9	8.4%	89.2%	※ 92.8%
日本	93.8	15.5%	92.5%	-

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率

地域別売上高



売上高の増減要因（品目別）

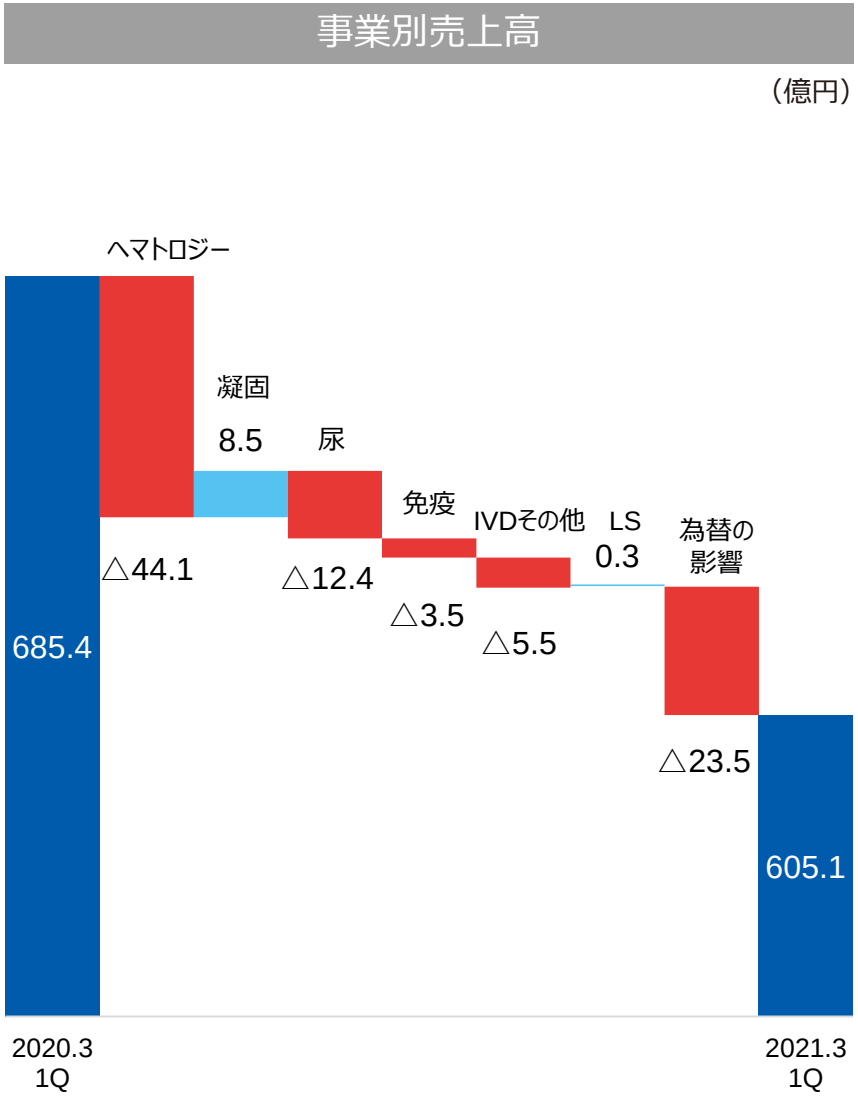


※下記数値・コメントは為替の影響を除く

- **機器：**
  - 各地域でのロックダウン・行動規制により、機器設置が遅延するも、サウジアラビアやメキシコにおける入札案件や、ドイツにおいて大手検査センター向け案件を獲得し、増収

- **試薬：**
  - ヘマトロジー・尿・免疫分野は、COVID-19の感染拡大により、減収
  - 凝固分野は、COVID-19重症化のモニタリング指標として活用されるD-Dimer試薬の伸長もあり、増収

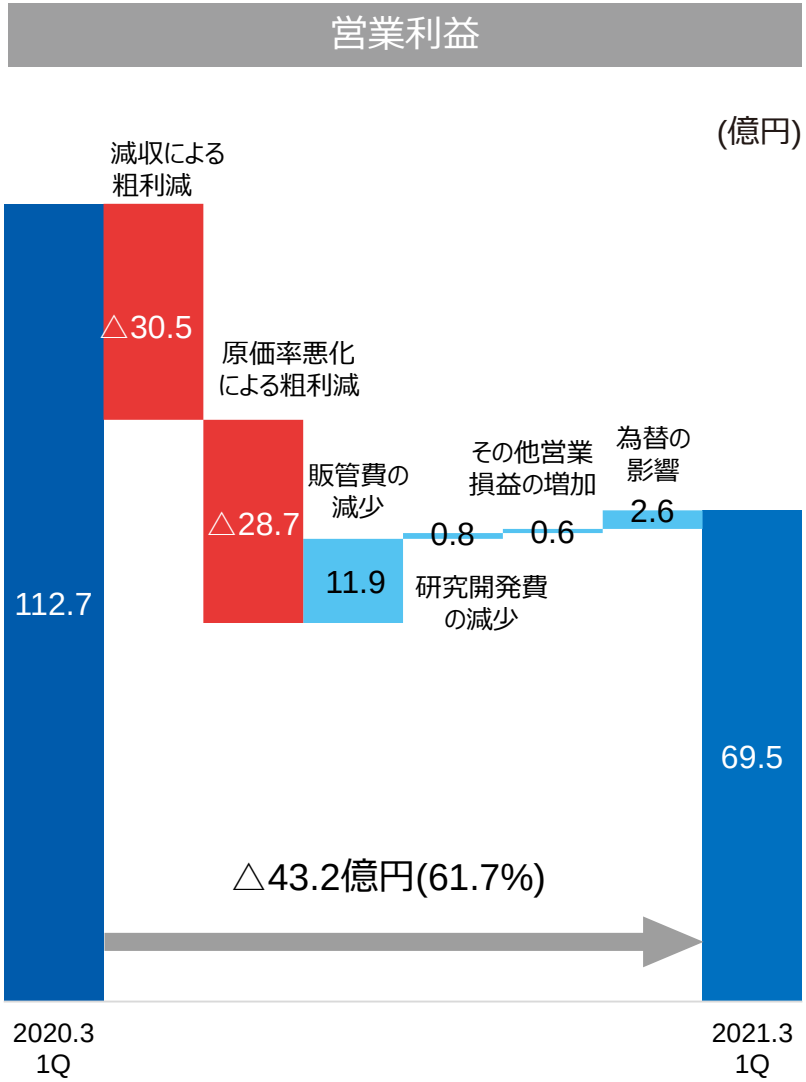
売上高の増減要因（事業別）



※下記数値・コメントは為替の影響を除く

- **ヘマトロジー・尿・免疫分野：**
  - COVID-19の影響により試薬売上が減少
  - 特に尿分野は、一般外来や健康診断での利用が多く、大きく影響
- **凝固分野：**
  - アライアンスパートナー向けを含め、各地域で増収
  - COVID-19重症化のモニタリング指標として活用されるD-Dimer試薬の伸長もあり、増収
- **ライフサイエンス分野：**
  - NCCオンコパネルやCOVID-19用のPCR検査キットの売上が増加

営業利益の増減要因



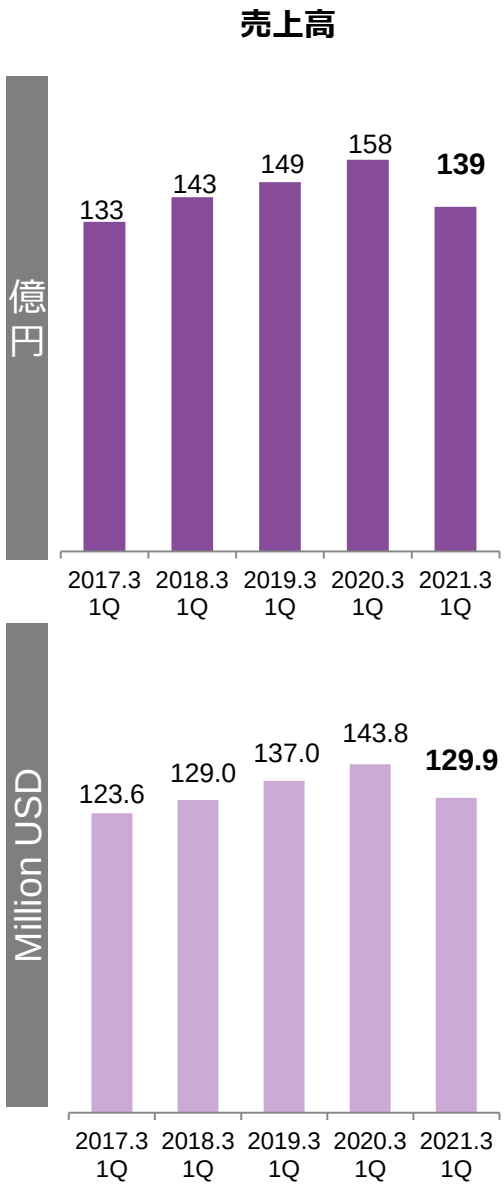
※下記数字は為替の影響を除く

- 減収による粗利への影響：30.5億円減少
- 原価率　：4.6pt悪化
  - プロダクトミックスの変化（試薬構成比低下）　：2.4pt悪化
  - 機器および試薬の生産量減少や、主に米国の検査数減少に伴うCPT※売上低下等による原価率悪化　：2.6pt悪化
  - 中国や米州におけるサービスコストの減少　：0.8pt改善
- 販売管理費　：11.9億円減少
  - ロックダウン、行動規制により事業活動を制限し、経費等が減少
- 研究開発費　：0.8億円減少
  - COVID-19流行下でも、計画通り研究開発活動を継続

- 為替の影響　：2.6億円のプラス影響

※CPT(Cost Per Test)：検査回数に応じて顧客に課金する取引

米州（地域別）



（億円）	2021年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 円ベース	前年同期比 現地通貨ベース
売上高	**139.7**	158.0	**88.4%**	90.3%
機器	**37.9**	40.9	**92.6%**	94.6%
試薬	**59.9**	73.2	**81.9%**	83.6%
サービス・その他	**41.8**	43.8	**95.4%**	97.4%

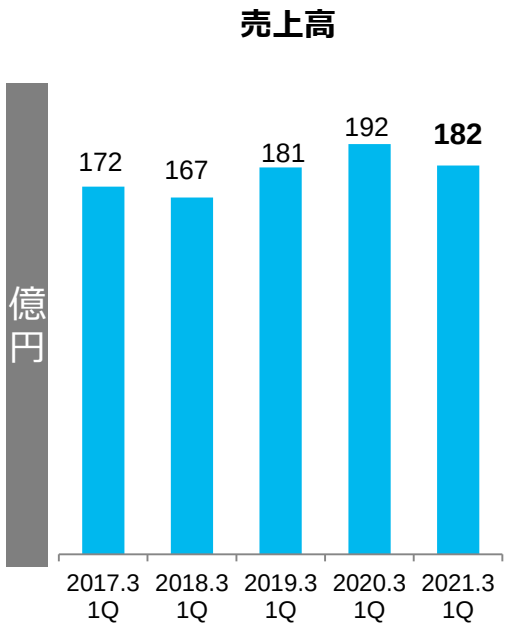
中南米において機器が好調に推移するも、COVID-19の影響を受け、ヘマトロジー分野を中心に試薬が減少し、減収

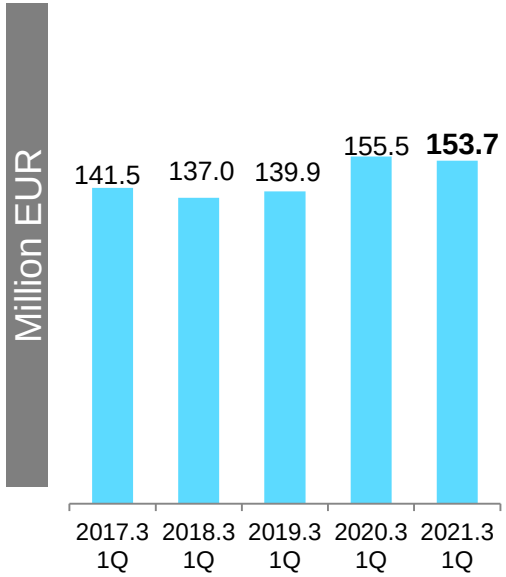
- 機器：北米における凝固分野の伸長や、メキシコにおけるヘマトロジー分野の入札案件獲得があるも、北米におけるヘマトロジー分野の機器導入遅延があり、減収
- 試薬：COVID-19の影響により、減収

トピックス

- 米国において、Flow Cytometer XF-1600 (研究用)を発売
- 米国では感染拡大が継続し、多くの州で経済活動再開が遅延

EMEA（地域別）





（億円）	2021年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 円ベース	前年同期比 現地通貨ベース
売上高	**182.1**	192.0	**94.9%**	98.9%
機器	**58.9**	53.6	**109.9%**	114.6%
試薬	**93.8**	110.1	**85.2%**	88.8%
サービス・その他	**29.3**	28.2	**104.1%**	108.5%

ヘマトロジー分野の機器売上や凝固分野の機器・試薬が好調に推移するも、COVID-19の影響を受けヘマトロジー・尿分野の試薬が減少し、減収

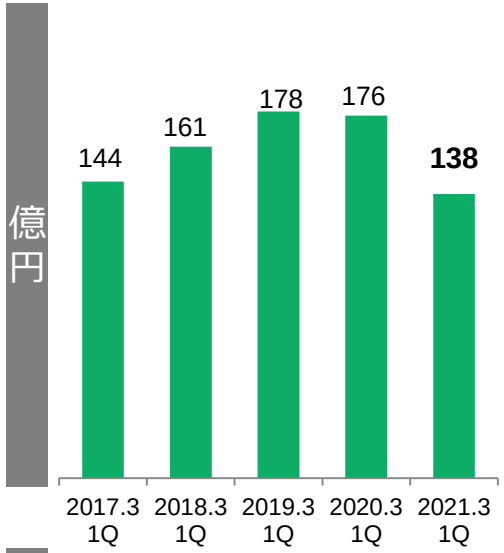
- 機器：ドイツにおける大手検査センター向け案件や、サウジアラビアの入札案件獲得によりヘマトロジー分野が好調に推移し、増収
- 試薬：各地域において、COVID-19の影響によりヘマトロジー・尿分野の売上が減少し、減収

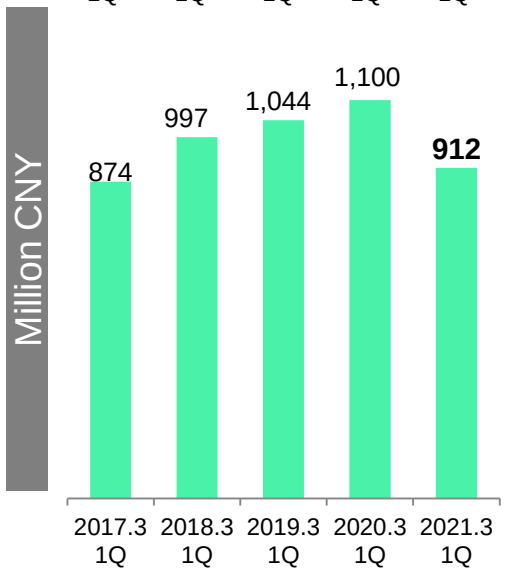
トピックス

- EMEA最大の検査センターグループとヘマトロジー分野において契約締結
- 欧州主要国では、行動規制の緩和後に感染者数が再度増加傾向

中国（地域別）

売上高





（億円）	2021年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 円ベース	前年同期比 現地通貨ベース
売上高	**138.4**	176.7	**78.3%**	82.9%
機器	**48.6**	44.7	**108.6%**	115.0%
試薬	**74.4**	113.8	**65.4%**	69.3%
サービス・その他	**15.3**	18.1	**84.6%**	89.6%

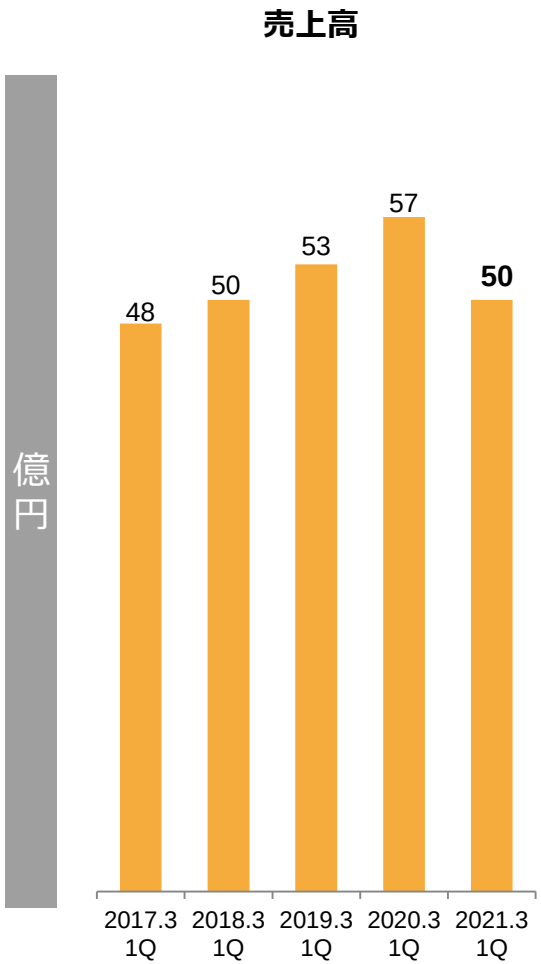
尿・免疫分野の機器売上が増収するも、ヘマトロジー分野を中心に試薬売上が減少し、減収

- 機器：尿・免疫分野が好調に推移し、増収
- 試薬：受診者数は回復傾向にあるも、代理店のCOVID-19流行に備えた前4Qにおける試薬前倒し購入の影響により、減収

トピックス

- 現地生産を採用したXN-10xに関して薬事認可を取得、下期より発売予定
- OSNA™法による乳がんのリンパ節転移検査システム（機器・試薬）発売
- COVID-19再流行を警戒した入院患者の制限により、受診者数は微減状態

AP（地域別）



（億円）	2021年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	**50.9**	57.1	**89.2% (92.8%)**
機器	**13.0**	11.4	**114.1%**
試薬	**33.4**	40.0	**83.5%**
サービス・その他	**4.4**	5.6	**79.6%**

( )は為替の影響を除いた場合

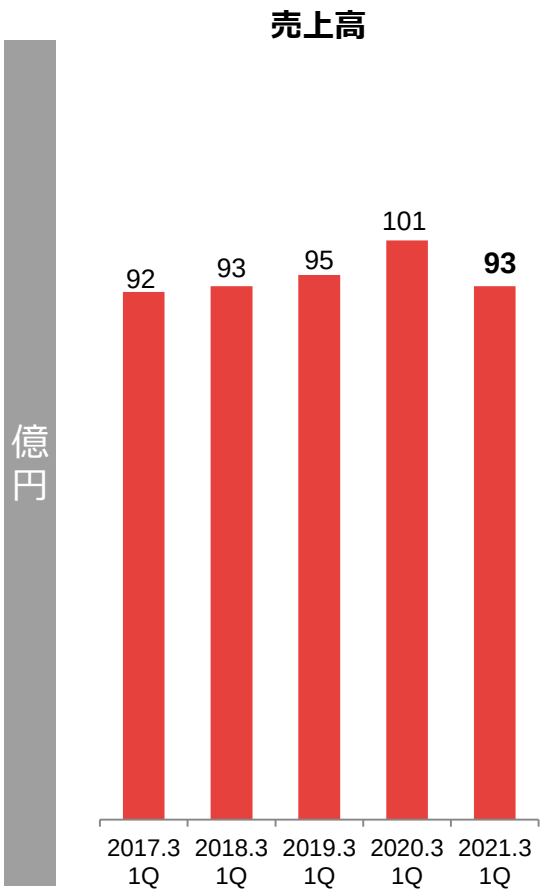
COVID-19感染拡大に備え代理店による機器購入が増加するも、試薬売上が減少し、減収

- 機器：タイやバングラデシュ等において、代理店が安全在庫を確保したことにより、ヘマトロジー分野を中心に増収
- 試薬：COVID-19の影響により、ヘマトロジーや尿分野において減収

トピックス

- 韓国・台湾において、全自動血液凝固測定装置CN-3000/CN-6000を発売
- 2019年に大流行したデング熱は、一部の国で再流行の兆候

日本（地域別）



（億円）	2021年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	**93.8**	101.4	**92.5%**
機器	**8.4**	16.3	**52.1%**
試薬	**67.4**	69.0	**97.6%**
サービス・その他	**17.9**	15.9	**112.0%**

前年同期の大型案件やCOVID-19の影響により、機器および試薬売上が減少し、減収

- 機器：前年同期の大型案件の影響に加え、緊急事態宣言の影響による機器導入遅延等により、減収
- 試薬：ヘマトロジー分野の精度管理用試薬や凝固分野が堅調に推移するも、COVID-19の影響により免疫・尿分野の需要が減少し、減収

トピックス

- 全自動血液凝固測定装置 CN-6000/CN-3000に凝固分子マーカー測定機能を加えた新製品 CN-6500/CN-3500を発売

3. 2021年3月期 売上予想

売上の見通し（単四半期、現地通貨ベース）

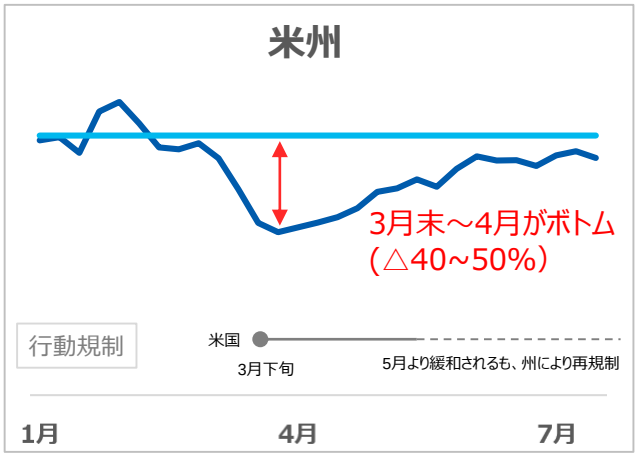
地域（売上構成比）	1Q（4-6月）		2Q（7-9月）		3Q（10-12月）	備考
	5月予測	実績	5月予測	8月予測	8月予測	
米州（約25%）	△15%	△9.7%	微増	△5-10%	増収	• 米国、ブラジルなどで感染拡大が継続しており、当初想定よりも影響が長期化
EMEA（約25%）	△15%	△1.1%	微増	△0-5%	△0-5%	• 1Qは機器売上の大型案件の影響により、当初想定より上振れ • アフリカ等では、影響が長期化するリスクあり
中国（約25%）	△15%	△17.1%	微増	横ばい	増収	• 1Qは代理店が試薬在庫消化を優先したため想定よりも下振れ • 感染リスク回避のため入院制限等により、回復スピードは当初想定よりも遅延
AP（約10%）	△20%	△10.8%（△7.2%）	△20%	△10-15%	△5-10%	• 1Qはロックダウンや第2波を警戒した代理店が機器を購入したため、当初想定よりも上振れ • 感染収束に時間を要しており、減収が続く見通し
日本（約15%）	△5-10%	△7.5%	△5-10%	△5-10%	増収	• ほぼ想定通りに進捗も、感染の再拡大により、今後の状況を注視
Total（円ベース）	△10-15%	△11.7%（△8.3%）	微減	△5-10%	＋5%	• 1Qは為替の影響を除けば、想定よりも上振れ • 2Qは米州、EMEA、中国の売上回復に時間を要するため、当初想定よりも下振れ • 3Q以降は増収路線に回帰の見通し

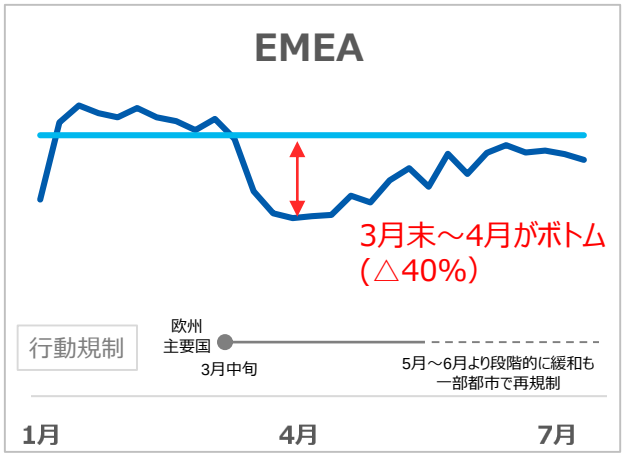
・（ ）為替の影響を除いた場合
・上記見通しは、COVID-19の流行状況により変動の可能性あり

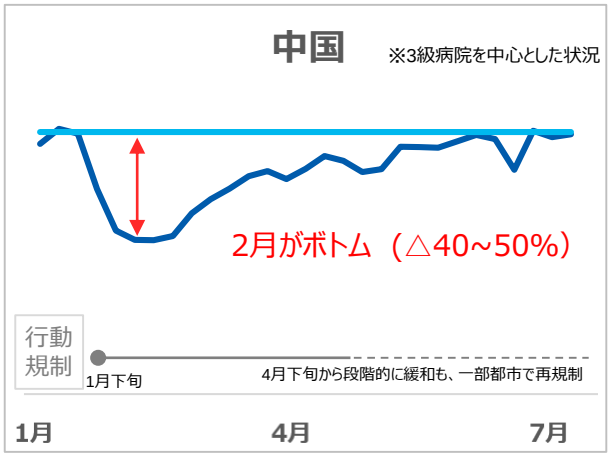
・5月予測レート：USD108.8円、EUR119.6円、CNY15.3円
・8月予測レート：USD107.7円、EUR121.0円、CNY15.2円

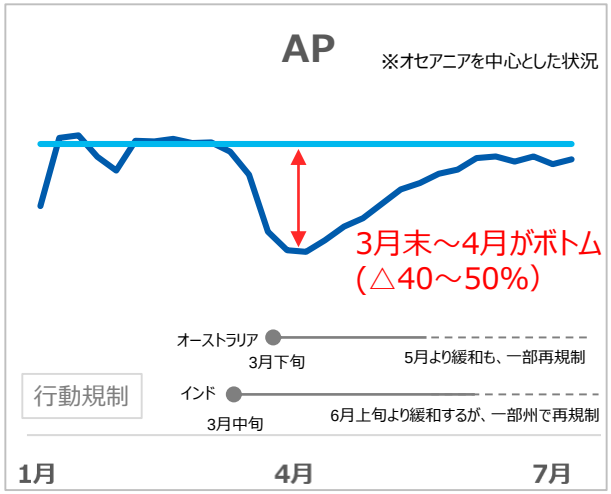
ヘマトロジーテスト数の推計

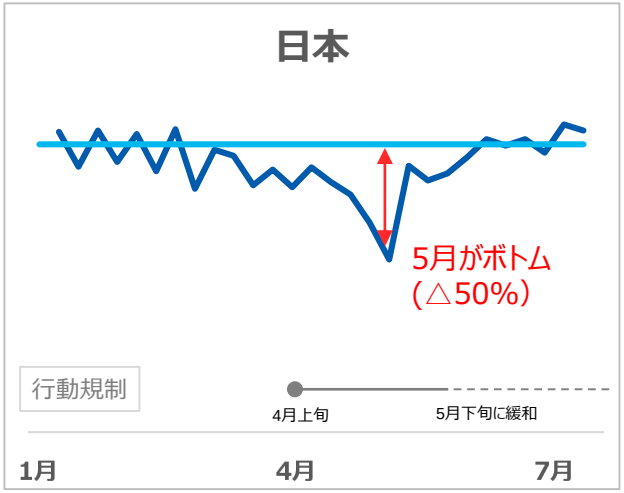
大規模病院や検査センターにおけるテスト数を推計
各地域とも復調傾向にあるが、小康状態が継続











前年度平均

予想配当額

・2020年3月期に対し、同額の配当を予定

	中間	期末	年間	配当性向
2020年3月期	36 円	36円	72円	43.1 %
2021年3月期（案）	36円	36円	72円	－

当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

(参考資料)

COVID-19への取り組み

安定的な製品・サービスの供給

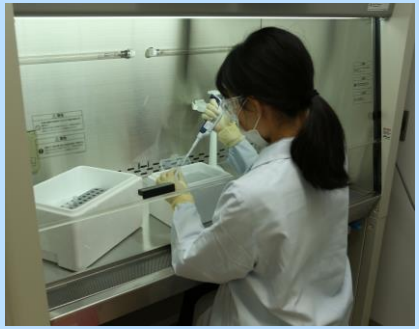
- 機器生産工場および、海外7カ国を含む試薬生産工場は滞りなく稼働し、機器・試薬ともに安定供給
- 病院や検査センターで必要な検査を止めないため、オンラインサポートも活用し、サービスを継続
- Webセミナーなど、オンライン形式による販売・マーケティング活動を各国で展開

従業員に対する取り組み

- グループ全体で従業員（パートタイマー・派遣社員含む）の雇用を維持
- 従業員が安心して働ける環境を整備。国内外でテレワークを活用

COVID-19検査体制拡充への取り組み

- PCR検査キットの供給を継続（国内）
- 神戸市、エスアールエルと連携し「シスメックス BMA ラボラトリー」(神戸医療産業都市内)にPCR 検査体制を構築、運用を開始（6月）
- 川崎重工業、メディカロイドと自動PCR検査ロボットシステム等の開発・社会実装支援を開始（6月）



シスメックスBMAラボラトリー内での
PCR検査の様子

COVID-19への取り組み

新たな検査の創出・提供

■ 抗原検査の開発（鼻咽頭ぬぐい液等）

- 当社免疫測定装置を用いたアッセイ系を構築**【完了】**
- 薬事承認を目指して、臨床評価を実施中

全自動免疫測定装
HISCL-5000

■ 抗体検査の開発（血液）

- 当社免疫測定装置を用いたアッセイ系を構築**【完了】**
- 国内医療機関との協力により、臨床性能評価を実施**【完了】**
- 研究用抗体受託測定サービス開始および、研究用抗体検出試薬を発売**【完了】**

※当社免疫測定装置では、抗原・抗体検査を**17分/検体（最大200検体/時間）**で、**高感度**に**定量測定**が可能

■ 重症度予測／治療モニタリング検査の開発

- 当社免疫測定装置を用いたサイトカインパネル※のアッセイ系を構築**【完了】**
- COVID-19に関連が高いとされる6項目について、研究用受託測定サービスを７月より開始**【完了】**

※サイトカイン：細胞から分泌されるタンパク質であり、細胞間相互作用に関与する生理活性物質の総称。感染が広範に及ぶと、炎症の応答も強くなり、炎症性サイトカインが大量に放出されることで、免疫細胞による急性多臓器不全が生じる。結果として呼吸不全や敗血症、凝固異常など重症病態を生じる

事業別・品目別売上高

（億円）

		2021年3月期 1Q 実績	構成比	前年同期 実績	構成比	前年同期比	前年同期比（前期レート）
事業別	ヘマトロジー	373.2	61.7%	431.6	63.0%	86.5%	89.8%
	血液凝固	113.8	18.8%	110.3	16.1%	103.2%	107.7%
	尿	35.2	5.8%	49.2	7.2%	71.6%	74.7%
	免疫	25.4	4.2%	29.8	4.3%	85.3%	88.2%
	生化学	6.1	1.0%	6.2	0.9%	98.6%	100.9%
	FCM事業	1.8	0.3%	3.7	0.5%	49.2%	51.8%
	IVDその他	24.8	4.1%	29.4	4.3%	84.6%	87.2%
	IVD事業	580.6	96.0%	660.4	96.4%	87.9%	91.4%
	LS事業	24.4	4.0%	24.9	3.6%	98.1%	101.5%
	その他	0.0	0.0%	-	-	-	-
	売上高　計	605.1	100.0%	685.4	100.0%	88.3%	91.7%
品目別	**機器**	167.0	27.6%	167.1	24.4%	99.9%	104.4%
	試薬	329.0	54.4%	406.3	59.3%	81.0%	84.1%
	サービス	86.2	14.3%	86.6	12.6%	99.6%	102.5%
	その他	22.6	3.7%	25.2	3.7%	90.0%	93.8%
	売上高　計	605.1	100.0%	685.4	100.0%	88.3%	91.7%

所在地別実績（売上高・営業利益）

		2021年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
				円貨	現地通貨
米州	外部売上高	128.9	146.5	88.0%	89.8%
	営業利益	△4.0	4.4	△90.0%	△91.9%
EMEA	外部売上高	182.3	195.9	93.1%	97.0%
	営業利益	16.6	15.7	105.9%	110.4%
中国	外部売上高	138.0	176.5	78.2%	82.8%
	営業利益	2.8	18.3	15.6%	16.6%
AP	外部売上高	50.6	56.6	89.3%	-
	営業利益	2.8	6.0	46.9%	-
日本※	外部売上高	105.1	109.6	95.9%	-
	営業利益	61.9	68.9	89.9%	-

※IDEXX社等含む外部売上高

Lighting the way with diagnostics